

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成28年9月23日(2016.9.23)

【公表番号】特表2016-516458(P2016-516458A)

【公表日】平成28年6月9日(2016.6.9)

【年通号数】公開・登録公報2016-035

【出願番号】特願2015-561475(P2015-561475)

【国際特許分類】

A 4 3 B 23/02 (2006.01)

A 4 3 B 5/06 (2006.01)

A 4 3 B 1/04 (2006.01)

D 0 4 B 1/22 (2006.01)

D 0 4 B 1/18 (2006.01)

D 0 4 B 1/00 (2006.01)

【F I】

A 4 3 B 23/02 1 0 1 A

A 4 3 B 5/06

A 4 3 B 1/04

D 0 4 B 1/22

D 0 4 B 1/18

D 0 4 B 1/00 C

【手続補正書】

【提出日】平成28年8月2日(2016.8.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ソール構造に接続されるように構成され、および足を受け入れるように構成されている履物製品用アップパーであって、

一体ニット構造を有するニット構成要素であって、

前記ソール構造に隣接して配置されるように構成されたベース部と、

前記ベース部の両端部から延びているかかと部および足先部と、

前記ベース部の両側部から延びている内側部および外側部であって、前記内側部と前記外側部との間にスロート区域を画成するように協働する、内側部および外側部と、

前記スロート区域内に配置されるように構成されている舌革部であって、前記内側部および前記外側部の少なくとも一方からは分離されている舌革部と、

を備えるニット構成要素と、

前記ニット構成要素の第 1 の縁部と、

縫い目で前記第 1 の縁部に結合されて、前記ベース部、前記かかと部、前記足先部、前記内側部および前記外側部に、前記足を受け入れるように構成される空洞を協働して画成させるように構成された前記ニット構成要素の第 2 の縁部と、

を備えるアップパー。

【請求項 2】

前記かかと部および前記ベース部は、3次元曲率を有するかかとキャビティの面を画成するように協働する、請求項 1 に記載のアップパー。

## 【請求項 3】

前記足先部および前記ベース部は、3次元曲率を有する足先キャビティの面を画成するように協働する、請求項 1 または 2 に記載のアップパー。

## 【請求項 4】

前記舌革部が前記ベース部から延びる、請求項 1 ～ 3 のいずれか一項 に記載のアップパー。

## 【請求項 5】

前記足先部と、前記内側部および前記外側部の一方との間にギャップが画成され、前記舌革部が、前記ベース部から延び、および前記ギャップ内に配置されている、請求項 4 に記載のアップパー。

## 【請求項 6】

前記ニット構成要素は、第 1 のテーパー状境界を有する第 1 のテーパー状区域と、第 2 のテーパー状境界を有する第 2 のテーパー状区域とを含み、前記第 1 のテーパー状境界は、前記ニット構成要素に 3 次元的輪郭面を形成するように、前記第 2 のテーパー状境界に接合されている、請求項 1 ～ 5 のいずれか一項 に記載のアップパー。

## 【請求項 7】

前記舌革部は、曲率を有する湾曲領域を形成するように、共通区域から放射状に広がる複数のニットコースを有する前記湾曲領域を含む、請求項 1 ～ 6 のいずれか一項 に記載のアップパー。

## 【請求項 8】

前記一体ニット構造に組み込まれる伸張性ストランドをさらに備え、前記伸張性ストランドは、前記ベース部、前記内側部および前記外側部のうちの少なくとも 1 つにわたって延びている、請求項 1 ～ 7 のいずれか一項 に記載のアップパー。

## 【請求項 9】

前記伸張性ストランドは、前記ベース部と、前記内側部および前記外側部の一方との間に連続的に延びている、請求項 8 に記載のアップパー。

## 【請求項 10】

前記伸張性ストランドは、前記内側部から前記ベース部を通して前記外側部まで連続的に延びている、請求項 9 に記載のアップパー。

## 【請求項 11】

前記伸張性ストランドは、前記内側部と前記外側部との間に互い違いに延び、前記伸張性ストランドは、前記ストランドが、前記内側部と前記外側部との間で互い違いになるように、前記ベース部を通して延びている、請求項 10 に記載のアップパー。

## 【請求項 12】

前記伸張性ストランドは、前記足に対して前記アップパーを選択的に固定するクロージャー要素を受け入れて支持するように構成されたターンを含む、請求項 8 ～ 11 のいずれか一項 に記載のアップパー。

## 【請求項 13】

前記内側部および前記外側部の一方は開口部を含み、前記ターンは、少なくとも部分的に前記開口部の周りに延び、前記開口部および前記ターンは、前記クロージャー要素を協働して受け入れて支持するように構成されている、請求項 12 に記載のアップパー。

## 【請求項 14】

前記ターンは、前記内側部および前記外側部のうちの一方から露出されている、請求項 13 に記載のアップパー。

## 【請求項 15】

前記ターンは、前記内側部および前記外側部のうちの一方の外側面と内側面との間に取り囲まれている、請求項 13 に記載のアップパー。

## 【請求項 16】

前記ベース部は前記ニット構成要素の内側面と、前記ニット構成要素の外側面とを画成し、前記内側面と前記外側面との間に経路が画成され、前記伸張性ストランドは、前記経

路を通して延びている、請求項 8 に記載のアップパー。

【請求項 17】

前記伸張性ストランドの第 1 の長手方向部分は前記経路内に配置され、前記伸張性ストランドの第 2 の長手方向部分は前記経路から露出されている、請求項 16 に記載のアップパー。

【請求項 18】

前記第 1 の縁部および前記第 2 の縁部は、前記縫い目によって接合されている、請求項 1 ～ 17 のいずれか一項に記載のアップパー。

【請求項 19】

前記第 1 の縁部および前記第 2 の縁部は、前記縫い目で当接する、請求項 18 に記載のアップパー。

【請求項 20】

前記縫い目は、前記一体ニット構造の縫製とは独立した縫製を含む、請求項 19 に記載のアップパー。

【請求項 21】

前記縫い目は、前記ベース部から、前記内側部、前記外側部および前記足先部のうちの少なくとも 1 つまで連続的に延びている、請求項 20 に記載のアップパー。

【請求項 22】

前記縫い目は、前記かかと部がシームレスになるように、前記かかと部から離間されている、請求項 21 に記載のアップパー。

【請求項 23】

前記縫い目は、前記アップパーの唯一の縫い目である、請求項 19 に記載のアップパー。

【請求項 24】

ソール構造に接続されるように構成されている履物製品用ニット構成要素を製造する方法であって、

前記ソール構造に隣接して配置されるように構成されたベース部と、

前記ベース部の両端部から延びているかかと部および足先部と、

前記ベース部の両側部から延びている内側部および外側部であって、前記内側部と前記外側部との間にスロート区域を画成するように協働する、内側部および外側部と、

前記スロート区域内に配置されるように構成されている舌革部であって、前記内側部および前記外側部の少なくとも一方からは分離されている舌革部と、

を有するように前記ニット構成要素を編むことと、

前記ニット構成要素の第 1 の縁部と、前記ニット構成要素の第 2 の縁部とを縫い目で結合して、前記ベース部、前記かかと部、前記足先部、前記内側部および前記外側部に、前記足を受け入れるように構成される空洞を協働して画成させることと、

を含む方法。

【請求項 25】

前記ニット構成要素を編むことは、3次元曲率を有するキャビティの面を形成することを含む、請求項 24 に記載の方法。

【請求項 26】

前記第 1 の縁部と前記第 2 の縁部とを一緒に結合することは、前記第 1 の縁部と前記第 2 の縁部とを縫製によって縫い合わせることを含む、請求項 24 または 25 に記載の方法。

【請求項 27】

前記ベース部、前記内側部および前記外側部のうちの少なくとも 1 つにわたって伸張性ストランドを延ばすことをさらに含む、請求項 24 ～ 26 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 28】

前記伸張性ストランドを延ばすことは、前記伸張性ストランドを前記内側部から前記ベース部を通して前記外側部まで連続的に延ばすことを含む、請求項 27 に記載の方法。

【請求項 29】

前記伸張性ストランドを延ばすことは、前記内側部と前記外側部との間で前記伸張性ストランドを互い違いに延ばすことを含む、請求項 28 に記載の方法。

【請求項 30】

前記ベース部は、前記ニット構成要素の内側面と、前記ニット構成要素の外側面とを画成し、前記内側面と前記外側面との間に経路が画成され、前記伸張性ストランドを延ばすことは、前記伸張性ストランドを前記経路を通して延ばすことを含む、請求項 27 に記載の方法。

【請求項 31】

前記ニット構成要素を編むことは、第 1 のテーパー状境界を有する第 1 のテーパー状区域と、第 2 のテーパー状境界を有する第 2 のテーパー状区域とを含み、前記第 1 のテーパー状境界は、前記ニット構成要素に 3 次元的輪郭面を形成するように、前記第 2 のテーパー状境界に接合されている、請求項 24～30 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 32】

前記ニット構成要素を編むことは、湾曲領域に曲率を与えるように、共通区域から放射状に広がる複数のニットコースを有する前記湾曲領域を含むように、前記舌革部を編むことを含む、請求項 24～31 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 33】

ソール構造に接続されるように構成され、および足を受け入れるように構成されている履物製品用アップパーであって、

前記ソール構造に隣接して配置されるように構成されているベース部を有するニット構成要素であって、前記ベース部が、前記ニット構成要素の内側面および外側面を画成し、前記ベース部が、前記内側面と前記外側面との間にベース部経路を画成するニット構成要素と、

前記ベース部経路を通して延びている伸張性ストランドと、  
を備えるアップパー。

【請求項 34】

前記ニット構成要素は、前記ニット構成要素の前記内側面および前記外側面も画成する側部を含み、前記側部は、前記内側面と前記外側面との間に側部経路を画成し、前記伸張性ストランドは、前記ベース部経路と前記側部経路との間に連続的に延び、および前記ベース部経路および前記側部経路の両方に受け入れられている、請求項 33 に記載のアップパー。

【請求項 35】

前記ベース部経路および前記側部経路は、前記伸張性ストランドが前記ベース部経路と前記側部経路との間に連続的に延びる際に、前記伸張性ストランドが前記ベース部経路および前記側部経路の内部に埋め込まれるように互いに連通している、請求項 34 に記載のアップパー。

【請求項 36】

前記側部は、前記ベース部の両側部から延びている内側部および外側部を含み、前記伸張性ストランドは、前記内側部から前記ベース部を通して前記外側部まで連続的に延びている、請求項 34 に記載のアップパー。

【請求項 37】

前記伸張性ストランドは、前記内側部と前記外側部との間に互い違いに延びている、請求項 36 に記載のアップパー。

【請求項 38】

前記伸張性ストランドは、前記アップパーを前記足に選択的に固定するクロージャー要素を受け入れて支持するように構成されたターンを含む、請求項 34～37 のいずれか一項に記載のアップパー。

【請求項 39】

前記側部は開口部を含み、前記ターンは、前記開口部の周りに少なくとも部分的に延び、前記開口部および前記ターンは、前記クロージャー要素を協働して受け入れて支持する

ように構成されている、請求項 38 に記載のアップパー。

【請求項 40】

前記側部は、前記ベース部を備えた一体ニット構造で形成されている、請求項 34～39 のいずれか一項に記載のアップパー。

【請求項 41】

前記伸張性ストランドは、前記ベース部経路内に滑動可能に収容されている、請求項 33～40 のいずれか一項に記載のアップパー。

【請求項 42】

前記伸張性ストランドは、前記ベース部に固着されている、請求項 33～40 のいずれか一項に記載のアップパー。

【請求項 43】

前記伸張性ストランドは、前記ベース部に融着されるように構成されている融着性ストランドである、請求項 42 に記載のアップパー。

【請求項 44】

前記ベース部は、前記足のアーチの下に延びるように構成されたアーチ支持領域を含み、前記伸張性ストランドは、前記アーチ支持領域の全域に延びている、請求項 33～43 のいずれか一項に記載のアップパー。

【請求項 45】

ソール構造に接続されるように構成され、および足の上に装着されるように構成されているアップパーを製造する方法であって、

前記ソール構造に隣接して配置されるように構成されているベース部を有するニット構成要素を編むことであって、前記ベース部が、前記ニット構成要素の内側面および外側面を画成し、前記ベース部が、前記内側面と前記外側面との間にベース部経路を画成することと、

前記ベース部経路を通して伸張性ストランドを延ばすことと、を含む方法。

【請求項 46】

前記ニット構成要素を編むことは、前記ニット構成要素の前記内側面および前記外側面も画成する側部を編むことを含み、前記側部は、前記内側面と前記外側面との間に側部経路を画成し、前記伸張性ストランドを延ばすことは、前記ストランドを、前記ベース部経路および前記側部経路の両方を通して連続的に延ばすことを含み、請求項 45 に記載の方法。

【請求項 47】

前記ベース部経路と前記側部経路とは互いに連通し、前記伸張性ストランドを延ばすことは、前記伸張性ストランドが前記ベース部経路と前記側部経路との両方を通して連続的に延びる際に、前記伸張性ストランドを前記ベース部経路および前記側部経路の内部に埋め込むことを含み、請求項 46 に記載の方法。

【請求項 48】

前記側部は、前記ベース部の両側部から延びている内側部および外側部を含み、前記伸張性ストランドを延ばすことは、前記伸張性ストランドを前記内側部から前記ベース部を通して前記外側部まで連続的に延ばすことを含み、請求項 46 に記載の方法。

【請求項 49】

前記伸張性ストランドを延ばすことは、前記伸張性ストランドを前記内側部と前記外側部との間で互い違いに延ばすことを含み、請求項 48 に記載の方法。

【請求項 50】

前記伸張性ストランドにターンを形成することをさらに含み、前記ターンは、前記アップパーを前記足に選択的に固定するクローチャー要素を受け入れて支持するように構成されている、請求項 49 に記載の方法。

【請求項 51】

前記側部は開口部を含み、前記ターンを形成することは、前記伸張性ストランドを前記

開口部の周りに少なくとも部分的に延ばすことを含み、前記開口部および前記ターンは、前記クローザー要素を協働して受け入れて支持するように構成されている、請求項 50 に記載の方法。

【請求項 52】

前記ニット構成要素を編むことは、前記ベース部を備えた一体ニット構造を有するように、前記側部を設けることを含む、請求項 45～51 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 53】

前記伸張性ストランドを前記ベース部経路を通して長手方向に滑動させることをさらに含む、請求項 45～52 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 54】

前記伸張性ストランドを前記ベース部に固着することをさらに含む、請求項 45～52 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 55】

ソール構造と、

アッパーであって、

一体ニット構造を有し、前記ソール構造に隣接して配置されるように構成されているベース部を有するニット構成要素であって、前記ベース部が、前記ニット構成要素の内側面および外側面を画成し、前記ベース部が、前記内側面と前記外側面との間にベース部経路を画成するニット構成要素と、

前記ベース部経路を通して延びる伸張性ストランドと、  
を備えるアッパーと、  
を備える履物製品。

【請求項 56】

前記ニット構成要素は、前記ベース部から延びている側部も含み、前記側部は、前記内側面および前記外側面のうちの少なくとも一方も画成し、前記内側面および前記外側面のうちの少なくとも一方は、前記ニット構成要素内に空洞を画成するために 3 次元的輪郭を有する、請求項 55 に記載の履物製品。

【請求項 57】

前記側部は、前記内側面と前記外側面との間に側部経路を画成し、前記伸張性ストランドは、前記ベース部経路と前記側部経路との間に連続的に延びて、前記ベース部経路および前記側部経路の両方に収容されている、請求項 56 に記載の履物製品。

【請求項 58】

前記側部は、内側部および外側部を含み、前記伸張性ストランドは、前記ベース部と、前記内側部と、前記外側部との間に連続的に延びている、請求項 57 に記載の履物製品。

【請求項 59】

前記ニット構成要素は、第 1 の縁部、および、縫い目で前記第 1 の縁部に結合されるように構成された第 2 の縁部も含み、前記ベース部および前記側部に、足を受け入れるように構成される空洞を協働して画成させる、請求項 56 に記載の履物製品。

【請求項 60】

前記側部は、前記ベース部の対向端部から延びているかかと部および足先部と、前記ベース部の両側部から延びている内側部および外側部と、前記内側部と前記外側部との間に画成されたスロット内に設けられるように構成された舌革部とを含む、請求項 59 に記載の履物製品。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0062

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0062】

さらに、図 6 に示すように、アッパー 120 は、ベース部 124 および／または側部 1

2 6 に結合されている少なくとも 1 つの伸張性ストランド 1 5 8 を含むことができる。ストランド 1 5 8 は、ベース部 1 2 4 および／または側部 1 2 6 のどの部分にも結合することができる。くわえて、ストランド 1 5 8 は、何らかの適当な方法で、ベース部 1 2 4 および／または側部 1 2 6 に結合することができる。たとえば、ストランド 1 5 8 は、説明されるように、ベース部 1 2 4 および側部 1 2 6 の一体ニット構造のコースおよび／またはウェール内に挿入することができる。したがって、ストランド 1 5 8 は、上述し、および図 1 3 および図 1 4 に図示されているストランド 1 1 3 2 に一致することが可能である。また、ストランド 1 5 8 は、ベース部 1 2 4 および／または側部 1 2 6 の内側面 1 2 1 または外側面 1 2 3 に接着し、固定し、貫通させ、または他の方法で結合することもできる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 7 5】

図 1 0 および図 1 1 に示す実施形態においては、ストランド 1 5 8 が、着用者の足の底部のさまざまな区域に対する支持をもたらすことができることは正しく認識されるであろう。たとえば、ストランド 1 5 8 は、着用者の足のアーチの底面に配置されるように構成されているアーチ領域 1 6 7 上に配置することができる。したがって、アーチ領域 1 6 7 内のストランド 1 5 8 は、特に、ストランド 1 5 8 が靴ひも 1 5 5 によって張力を加えられている場合、着用者のアーチを支持することができる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 8 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 8 6】

アッパー 2 2 0 は、上述した実施形態と同様に、内側部 2 3 2、ベース部 2 2 4 および外側部 2 3 0 にわたって互い違いに延びているストランド 2 5 8 を含むことができる。また、ストランド 2 5 8 は、1 つ以上の経路 2 6 2 を通って延びることもできる。しかし、経路 2 6 2 は、内側部 2 3 2 および外側部 2 3 0 上に画成することができ、また、経路 2 6 2 は、ベース部 2 2 4 から離間させることができる。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

**图 10**

【補正の内容】



【図 11】

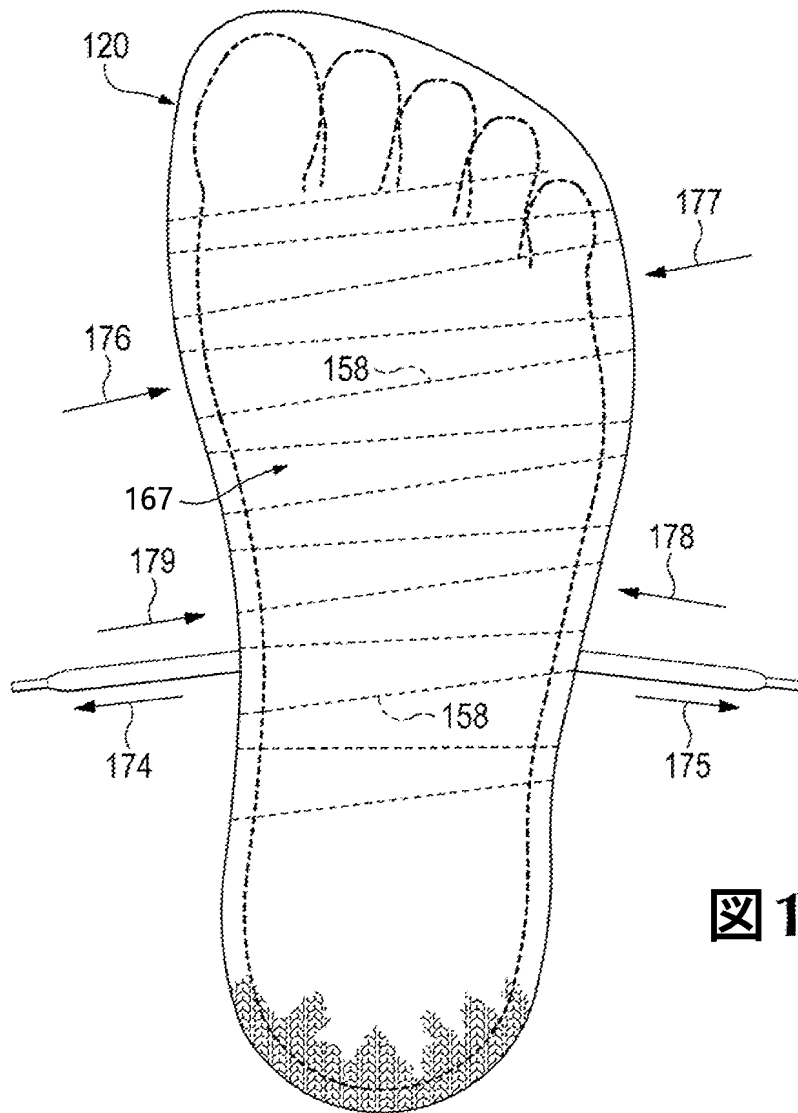


図 11